

# 地域社会への責任と行動

「そこにムラタがあることがその地域の喜びであり誇りであるように」と考え、世界各地の拠点で、地域と社会に貢献するさまざまな活動を推進しています。

## 地域社会活動

### 地域の文化・スポーツ振興に協力

村田製作所は、本社のある京都を中心に、地域社会の文化・スポーツ振興を支援しています。

2006年度は、文化振興支援活動の一環として、京都府・滋賀県の小学生を招いて、「ムラタ イノバーターカップ 小学生囲碁9路盤大会」を開催。約60名の参加者が腕を競いました。2007年度も第2回大会の開催を予定しています。

またスポーツ振興支援活動として、長岡京市で開催される全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」に1992年から毎年協賛しているほか、滋賀県琵琶湖岸で開催される「びわ湖大学駅伝」にも協賛しています。障害者のスポーツ支援にも取り組んでおり、京都市で開催される「全国車椅子駅伝」に協賛しています。

## 学術支援活動

### 自然科学、人文・社会科学を振興する 村田学術振興財団

学術振興を通じて少しでも社会に役立ちたいと考え、ムラタでは、1985年2月に「村田学術振興財団」を設立。同財団は、エレクトロニクス分野を中心に、科学技術の向上・発展や、国際化にともなう人文・社会科学分野の諸問題の解決に寄与する研究への助成を行ってきました。2006年度の助成件数は、研究助成66件、研究会助成12件、海外派遣援助7件であり、計7,000万円を助成しました。

## 寄付・寄贈

### 国内外へのさまざまな寄付

ムラタは「そこにムラタがあることが、地域のよろこびであるように」という方針のもと、さまざまな寄付をしています。

2006年度は、ジャワ島中部地震の被災者に、日本赤十字社を通じて救援金を寄付しました。またムラタの事業所も被害を受けた能登半島沖地震の被災者に対して、石川県を通じて、救援金を寄付しました。

また、タイのHIV/AIDS予防活動に毎年協力しており、NPO法人ピープルズ・ホープ・ジャパンを通じて寄付を行いました。

また、アジア・太平洋地域の経済成長支援の一環として、2007年5月に京都で開催された第40回アジア開発銀行年次総会に寄付しました。



アズミ村田製作所の従業員と家族がNPO団体と共同で全国一斉水質調査に参加しました。



深圳村田科技有限公司従業員による中国深圳での植樹活動

## 地域社会への責任と行動



無錫村田電子有限公司の近隣住民に対する環境教育

### 緑化活動

#### 事業所ごとに緑化計画を進めています

ムラタでは、グループ全体の緑化方針を定め、事業所ごとに緑化計画を設定し、積極的な事業所緑化を推進しています(⇒P17 特集3参照)。

出雲村田製作所では、サクラとツバキの開花時に一般公開を実施、また、八日市事業所と野洲事業所ではシャクナゲ観賞会を開催しています。これらの毎年の恒例行事のほか、小松村田製作所や伊ワミ村田製作所、福井村田製作所宮崎工場などでは、近隣の駅や道路沿いにプランターを設置するなど、事業所内外での緑化に取り組んでいます。

### 環境コミュニケーション

#### 中国で環境教育を実施

ムラタでは、地域社会に貢献するために、各事業所の近隣住民の方々とコミュニケーションを図っています。2006年度は、中国にある無錫村田電子有限公司において、近郊の「南星苑」居住区住民に対して環境教育を実施しました。

内容は「廃棄物の分類」や「省エネルギー」など、中国政府の進める政策の理解促進を主な目的に、環境問題と企業の責任、無錫村田電子有限公司の環境方針などについても説明したものです。今後も継続してこうした環境教育を実施し、地域社会へ貢献していきます。

#### 近隣とのコミュニケーション

2006年度は、国内の8カ所の事業所で、近隣の小学生や住民の方を対象とした工場見学を開催しました。

また、福井村田製作所、小松村田製作所、鯖江村田製作所、岡山村田製作所などでは、地域の環境イベントに出展し、ムラタの環境取り組みを紹介するとともに、来場者に環境保全の重要性を伝えました。

今後も、このような活動を拡大・継続していきます。



氷見村田製作所を工場見学に訪れた子供たち

#### 従業員の声

#### 今後も中国で地域住民への環境意識啓発に取り組めます

近隣住民への環境教育を通じて、中国では環境配慮の意識を浸透させることはまだまだ難しいと感じました。

中国社会では生活レベルが向上していく反面、環境が悪化する方向に進んでいます。市民レベルでも環境を自身の問題として捉えている人は非常に少ないと感じました。政府部門では企業に対する監視が厳しくなってきましたが、公害防止が主たる目的であり、環境負荷低減やCO<sub>2</sub>削減といったテーマはあまり聞こえてきません。ムラタの取り組みだけでなく、現地社会への啓発も含めて課題は山積みです。



無錫村田電子有限公司  
管理部 環境管理科  
徐 桂麗